

むつみだより

令和5年2月号 No.281
母子生活支援施設
仙台むつみ荘



スケート教室

冬季レクリエーションでベルサンピア泉へスケート教室に行ってきました！

スケート場に到着し、氷を目の前にすると楽しみと緊張が入り混じったような様子の子も達。スケートに来たことがある子もいれば、今回初めて挑戦する子もいて、インストラクターの先生に教えてもらいながら一生懸命練習します。最初は「怖い」と言っていた子も、足の動かし方や滑る姿勢などを教えてもらい、転んでも何度も挑戦し、みるみるうちに上達していきました。

時間はあっという間に過ぎ、午前の部は終了。昼食はみんなでカツカレーを食べて力をつけ、いざ午後の部へ！午後は、スケート用の氷の上を滑れる椅子を借り、子ども達は椅子に座って押ししてもらったり、友達同士交換して押ししたり、自由に楽しんでいました。

最初は壁にしがみついて手を離せなかった子も、午後には一人で滑れるようになって楽しんでいて、怖くても挑戦する姿やその成長速度に感動です。

最後はみんなでアイスを食べ、一日を振り返り楽しかった話をする子ども達の笑顔はキラキラ輝いていました。

2月の予定

○節分豆まき会
夕食提供

○バレンタイン企画
(子ども会)



餅つき会



さくらハイツの皆さんをお招きし、むつみ荘で餅つき会を行いました。

臼と杵を使った本格的な餅つきにみんな大興奮で、「早くやりたい！」「一人でできる！」と張り切る子ども達。「よいしょ！」の掛け声と共に力いっぱい餅をつくると、最初は米粒状のものがだんだん一つにまとまり、よく伸びるひとつのお餅となりました。

今年は白い餅と、食紅を混ぜて赤くした餅の2種類を用意し、ついたお餅で餅花を作りました。一人一つ、木の枝やリースなど好きな形のものを選び、餅を巻き付けて丸めます。細かくちぎってたくさん巻き付ける子や、大きく丸めてつける子など、それぞれの個性が溢れていました。

終わった後はずんだ、こしあん、ごまあんの3種類の餅を持って帰って家で食べてもらいました。他施設と交流する機会がなかなかない中で、とても楽しい賑やかな時間となりました。

また来年もみんなで餅つきできますように♪



節分で家族間のコミュニケーション

2月は「節分」の行事があります。「福は内、鬼は外」と声を出しながら、お面をかぶった「鬼」に豆をぶつけて、玄関から家の外へ。豆を自分の年の数だけ食べると、1年間は無病息災で過ごせると言われています。このような行事の際にぜひ、子どもとのコミュニケーションを図りましょう。日本の伝統や風習を通じて、感性を養ってほしいですね。

